

【台湾】

7-8 月の市場動向トピックス

- 2020 年 7 月の訪日台湾人数は、前年同月比 100.0%減の 100 人であった。
- 2020 年 8 月の訪日台湾人数は、前年同月比 99.9%減の 400 人であった。
- 7・8 月も、新型コロナウイルス感染症の拡大により、3 月 17 日以降、台湾における日本への渡航警戒レベルが更に引き上げられたこと等に加え、4 月 3 日以降、日本における検疫強化、上陸拒否の対象となったこと等もあり、訪日者数は前年同月を大幅に下回った。なお、国際的な人の往来再開に向けた段階的措置として、9 月 8 日から日台間での「レジデンストラック」の受付を開始した。

7-8 月の主なプロモーション活動

- 8 月 28 日～31 日に開催された台北国際観光博覧会(TTE)に、VJ ブースを出展した。ブース内では、「安心安全」に向けた取り組みや、アフターコロナを意識し、登山やサイクリング等アウトドアアクティビティの魅力を中心に PR した。また全国から募集したパンフレットの配布や、自治体や鉄道会社によるステージ PR など、オールジャパン体制で日本の安心安全対策や観光の魅力を発信し、日本ファンの心を繋ぎ止めた。
- 旅行博全体の展示ブース数は昨年比約 50%減、全体来場者数も約 38%減であったが、VJ ブース来場者数は約 27%減であった。また、ブース内で実施したアンケートでは、「日台往来再開後 3ヶ月～半年以内に訪日したい」が 50%以上という結果になり、高い訪日意欲がうかがえた。



VJ ブース



ステージ PR の様子



パンフレット配布の様子